

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称：社会福祉法人各務原市社会福祉事業団 各務原市福祉の里 ぽぷら	種別：生活介護
代表者氏名：伊藤 由美子	定員（利用人数）： 20名
所在地：各務原市須衛稲田7番地	Tel 058-370-7500

③総 評

◇特に評価の高い点

<施設の持つ機能を地域に還元している。>

福祉、医療、リハビリテーションの各種専門職が配置され、地域の障がい児から障がい者まで一貫した支援が可能な複合的専門施設である。施設内での連携体制を活かし、身体障がい者、とりわけ重症心身障がい者の生活介護の他、入浴サービス、日中一時支援事業等を展開し、施設の機能を地域に還元している。また、会議室や体育館アリーナでは、利用のない日には、一般市民に向けて施設を地域に開放している

<施設環境に恵まれている。>

園庭には芝生が敷き詰められ、広く安全な場所となっており、一部、プールや遊具が設置してあり、楽しめるようになっている。こぶしの木が植えられ、春には花見に市民が憩う場所となっている。また、周りの自然環境に恵まれ、自然の中で安全に散歩することができる。

建物の中央にある玄関ホール「なかよし広場」には、施設利用者による作品が展示されており、基本理念である「笑顔で、元気に、自分らしく」の実践が見て取れる。円形のスロープで、広く、ゆったりと歩行訓練に活用できる。体育館は上部が吹き抜けになっており、明るく開放的な運動スペースである。

各室には様々な訓練用品、エルゴ(自転車こぎ)、足のマッサージ用ベッド、平行棒、マジックミラー等、利用者の障がいに合わせた器具が配置され、訓練が効果的にできるよう環境が整備されている。

<利用者を尊重したサービス提供に努めている。>

利用者の立場に立ったケアの基本姿勢について運営規程に明示されている。また、人権に配慮した言葉がけ、日常的な場面での支援等について、職員間で振り返り、支援の質の向上を図っている。

◇改善を求められる点

<各種マニュアルの整備に向けた取り組みに期待したい。>

各場面の支援における標準的なサービスの実施方法のマニュアル化については、まだ十分ではないので、今後、各種マニュアルの整備に向けた取り組みに期待したい。

<公益事業活動の拡充に向けた取り組みに期待したい。>

社会福祉法人改革の流れの中で、今後、社会福祉法人の使命として、公益的な事業活動がますます重要になってくる。公益活動はこれからの分野であるので、地域の身体障がい者ケアの拠点施設として地域のニーズを捉え、施設の専門性を提供できる方策を検討する等、今後この分野での活動の拡充に向けた取り組みに期待したい。

<職員の経営参画に向けた取り組みに期待したい。>

訪問の際、職員がチーム一丸となって真摯に支援に取り組む姿勢が感じられた。さらに今後は、社会福祉法人にもサービスの質の向上とともに、経営体質の強化が要請されていくと考える。職員のコンプライアンス意識を高めるとともに、経営効率化の観点から職員の経営参画に向けた取り組みに期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、支援や今後の方針について見直すよい機会となりました。評価では、良い点や改善すべき点などにつきましてご指摘をいただきました。今後、改善すべきと指摘された点については、継続的に改善に向けた取り組みを行うとともに、評価の良かった点についても更なる改善に努めることで、今後、多様化する利用者のニーズに対応したケア実践に努めていきたいと考えています。

⑤評価細目の第三者評価結果 (別添)